

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3F (社)日本鉄鋼協会 担当: 桑原良太
TEL 03-3279-6021 FAX 03-3245-1355

8. プログラム

10:00~10:10	開会の挨拶	日本学術会議会員, 金研連委員長, 京大名誉教授	高村 仁一
10:10~11:10	鉄および鉄合金の新溶製プロセス	新日本製鉄(株)製鋼研究センター主任研究員	片山 裕之
11:10~12:10	超高真空を利用した高純度金属精製	東北大名誉教授 神奈川大教授 日新製鋼(株)顧問	木村 宏
12:10~13:20	————(休憩)————		
13:20~14:20	メカニカル・アロイイングによるナノメータ結晶およびアモルファスの形成	京大教授 新宮 秀夫 九大教授 森永 健次	
14:20~15:20	セラミックス材料のプロセッシング		
15:20~15:30	————(休憩)————		
15:30~16:30	ニューガラス材料のプロセッシング	東大教授 牧島 亮男	
16:30~17:00	質疑・応答	(社)日本鉄鋼協会会長, 阪大教授 森田善一郎	
17:00~17:05	閉会の挨拶	日本学術会議会員, 東北大学名誉教授	須藤 一

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

● 高温界面移動現象シンポジウム開催案内

鉄鋼基礎共同研究会・界面移動現象部会最終報告会

▶ 平成 3 年 6 月 5 日 (水)・6 日 (木) ◀

界面における物質, 熱, 運動量の移動現象は, 金属製錬プロセスのあらゆる局面に関与しており, 新プロセスの開発やプロセスの高度な制御性の獲得のためには, これら現象の機構解明が重要な課題となっている。

本部会では, 多岐にわたる界面移動現象の中から, 主として鉄鋼製錬に関わる五つのテーマを取り上げ, 泡立ち, 容量係数, マランゴニ効果, 測定法ならびに二次燃焼の五つのサブグループを構成して調査研究活動に取り組んできた。

本シンポジウムでは, 各サブグループごとに実施してきた活動内容および個々の研究活動を総括し, 一般の御批判を仰ぐこととしたい。多くの御来聴を歓迎します。

1. 主 催: 鉄鋼基礎共同研究会・界面移動現象部会

2. 日 時: 平成 3 年 6 月 5 日 (水) 10:00~16:30

6 日 (木) 9:30~15:00

3. 場 所: 東京大学 山上会館

4. プログラム:

・開会挨拶

・講演 (各サブグループごとに活動報告と数件の研究報告, 詳細は次号掲載)

1. 泡立ち SG 2. 容量係数 SG 3. マランゴニ SG 4. 測定法 SG 5. 二次燃焼 SG

・閉会

5. 参加費: 1,000 円 (当日受付でお支払い下さい)

6. 懇親会: 6 月 5 日 (水) 17:00 より同会館内にて行います。会費 5,000 円ですので, 奮ってご参加下さい。

7. 申込み・問合せ先:

参加申込みは, 官製ハガキに参加希望者の氏名・勤務先・所属・住所・電話番号及びシンポジウム・懇親会の参加希望についてご記載の上, 下記までお送り下さい。(参加者制限: 100 名まで)

なお, 参加受付の承諾は, 否の場合のみご連絡させていただきますのでご承知おき下さい。

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階 (社)日本鉄鋼協会 技術室 宮谷または佐藤

TEL 03-3279-6021 FAX 03-3245-1355